

F16H 伝動装置

注

(1)機械的伝動装置を含む組み合わせはグループ 1 / 0 0 から 3 5 / 0 0 に分類されていない限りグループ 3 7 / 0 0 から 4 7 / 0 0 に分類する。[2 0 0 9 . 0 1]

(2)このサブクラスにおいては、剛結合された部材は単一部材とみなす。

(3)このサブクラスにおいては、下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる；

“ 歯車伝動装置 ” はウォーム伝動装置および歯または歯に相当するものを備えた少なくとも 1 つの車または扇形車を含む他の伝動装置を含み、チェーンや歯付きベルトによる伝動装置は摩擦伝動装置で取り扱うので除く；

“ 運動の伝達 ” はエネルギーを伝達することを含むとともに、入、出力運動が、たとえば速度、方向または大きさにおいて相違していようと、同種であることを意味する；

“ 回転 ” は回転が無限に続き得ることを意味する；

“ 振動 ” は伝動装置の構造によって規制される範囲で、一回転以上をも含めて、軸のまわりを運動し、その運動は伝動装置の連続運転中、交互に前後することを意味する；

“ 往復運動 ” は本質的に直線の運動を意味し、その運動は伝動装置の連続運転中、交互に前後することを意味する；

“ 逆転する ” または “ 逆転 ” は一方向の入力運動から生じる出力運動が 2 つの反対方向のどちらかに随意に切換え得ることを意味する；

“ 中心歯車 ” はその軸が伝動装置の主軸あるすべての歯車を含む。

(4) 次の箇所に注意すること。

A 0 1 D 6 9 / 0 6 収穫期または刈取機の伝動機構

A 6 3 H 3 1 / 0 0 玩具の伝動装置

B 2 1 B 3 5 / 1 2 金属圧延機の歯車伝動装置

B 6 0 K 車両用伝動装置の配置

B 6 1 C 9 / 0 0 機関車の伝動装置

B 6 2 D 3 / 0 0 自動車の操向伝動装置

B 6 2 M 車輪付車両の伝動装置

B 6 3 H 2 3 / 0 0 船舶推進の伝動装置

B 6 3 H 2 5 / 0 0 船舶の操向伝動装置

F 0 1 ~ F 0 4 機械、機関、ポンプ

F 1 5 B 1 5 / 0 0 流体作動装置と組み合わせた伝動装置

G 0 1 D 5 / 0 4 測定装置に関する指示または記録装置に用いられる伝動装置

H 0 3 J 1 / 0 0 同調共振回路の駆動装置の配置

H 0 4 L 1 3 / 0 4 デジタル情報の伝動装置駆動機構 [5]

サブクラス内の索引

回転運動に限定されない伝動装置

機械的伝動装置

レバー、リンク、カムを用いるもの 21/00-25/00

間欠駆動部材を用いるもの 27/00-31/00

他の伝動装置；伝動装置の組み合わせ 19/00, 33/00, 35/00, 37/00

細部 51/00-57/00

流体伝動装置 43/00

回転運動を伝動するための伝動装置

歯車伝動装置 1/00, 3/00

無端可撓部材を用いるもの 7/00, 9/00

他の摩擦伝動装置 13/00, 15/00

流体伝動装置 39/00, 41/00, 45/00

間欠伝動装置を用いるもの 29/00

制御

変速用または逆転用回転運動伝動装置の制御 ... 59/00-63/00

伝動装置の組み合わせ；差動伝動装置；その他の伝動装置

..... 47/00, 48/00, 49/00

伝動装置の一般的な細部 57/00

回転運動伝達用歯車伝動装置

1/00 回転運動伝達用歯車伝動装置（可変変速比をもつ回転運動伝達または逆転運動に特有なもの F 1 6 H 3 / 0 0 ）

1/02 ・遊星運動をする歯車がないもの

1/04 ・ただ 2 つの相互にかみ合う部材を含むもの

1/06 ・・・・平行な軸をもつもの

1/08 ・・・・部材がハスバの、ヤマバのまたは同様な歯を有しているもの

1/10 ・・・・部材の 1 つが内側に歯のあるもの

1/12 ・・・・平行でない軸をもつもの

1/14 ・・・・円すい形の歯車のみからなるもの

1/16 ・・・・ウォームおよびウォームホイールからなるもの

1/18 ・・・・部材がハスバの、ヤマバのまたは同様な歯を有するもの（ F 1 6 H 1 / 1 4 が優先）

1/20 ・3 つ以上のかみ合う部材を含むもの

1/22 ・・・・複数の駆動軸または被駆動軸をもつもの；2 つ以上の中間軸の間に、トルクを分割するための装置をもつもの

1/24 ・インボリュートまたはサイクロイド歯とは異なった、相互にかみ合う要素を本質的に有する歯車を含むもの（ F 1 6 H 1 / 1 6 が優先）

1/26 ・軸の不整列を補償する特別な手段

1/28 ・遊星運動をする歯車があるもの

1/30 ・・・・その中で、遊星歯車が伝動装置の主軸と交差する軸を有し、しかもハスバをもつか、またはウォームであるもの

1/32 ・・・・その中で、伝動装置の中心軸が遊星歯車の周囲の内側にあるもの

1/34 ・インボリュートまたはサイクロイド歯とは異なった、相互にかみ合う要素を本質的に有する歯車を含むもの（ウォーム伝動装置 F 1 6 H 1 / 3 0 ）

1/36 ・・・・相互にかみ合う遊星歯車によって連結されている 2 つの中心歯車をもつもの

1/46 ・・・・おのおのが遊星歯車をもつ複数の歯車

F 1 6 H

- 列からなる機構
- 1/48 ・ ・ 軸の不整列を補償するための特別な手段
- 3/00 可変変速比をもった回転運動伝達用または逆転用歯車装置 (変速機構または逆転機構 F 1 6 H 5 9 / 0 0 ~ F 1 6 H 6 3 / 0 0)
- 3/02 ・ 遊星運動をする歯車がないもの
- 3/04 ・ ・ 内歯車をもつもの
- 3/06 ・ ・ ウォームおよびウォームホイールまたはハスバのまたはヤマバの歯を本質的に有する歯車
- 3/08 ・ ・ もっぱらまたは本質的に、軸との接続をはずすことができ、常に歯車どうしかみ合っている歯車をもつもの
- 注
このグループにおいては、歯車どうしのかみ合いをはずすことが可能である歯車は、もしそれが逆転のみに用いられるならば、考慮に入れない。[8]
- 3/083 ・ ・ ・ 半径方向に動かされるか、あるいは軸方向に制御されるクラッチ部材をもつもの、例、スライディングキーをもつもの [5]
- 3/085 ・ ・ ・ 2 つ以上の出力軸をもつもの [5]
- 3/087 ・ ・ ・ 歯車の配置に特徴をもつもの (F 1 6 H 3 / 0 8 3 , F 1 6 H 3 / 0 8 5 が優先) [5]
- 注
カウンター軸を数える場合に、逆転カウンター軸は、もしそれが逆転のためのみに用いられるならば、考慮に入れない。[5]
- 3/089 ・ ・ ・ ・ 一方が入力軸で他方が出力軸である一対の平行な軸上に、全てのかみ合う歯車が支持されているもので、カウンター軸を構成要件としないもの [5]
- 3/091 ・ ・ ・ ・ 単一のカウンター軸を含むもの [5]
- 3/093 ・ ・ ・ ・ 2 つ以上のカウンター軸をもつもの [5]
- 3/095 ・ ・ ・ ・ カウンター軸間のトルクの均等な分配を補償する手段をもつ [5]
- 3/097 ・ ・ ・ ・ 入力と出力軸が同一軸上に整列されるもの [5]
- 3/10 ・ ・ ・ 根本的な特徴として、1 つ以上の一方向クラッチをもつもの
- 3/12 ・ ・ ・ クラッチに組み込まれていない同期のための手段を有するもの [2 0 0 6 . 0 1]
- 3/14 ・ ・ ・ 逆転のみのための伝動装置
- 3/16 ・ ・ 歯車どうしのかみ合いをはずすことが可能な歯車および軸との接続をはずすことができ、常に歯車どうしかみ合っている歯車の両者を本質的にもつもの

注

このグループにおいては、歯車どうしのかみ合いをはずすこと

が可能である歯車は、もしそれが逆転のみに用いられるならば、考慮に入れない。[8]

- 3/18 ・ ・ ・ 逆転のみのための歯車装置
- 3/20 ・ ・ もっぱらまたは本質的に、歯車どうしのかみ合いをはずすために動かすことができる歯車を用いるもの

注

このグループにおいては、歯車どうしのかみ合いをはずすことが可能である歯車は、もしそれが逆転のみに用いられるならば、考慮に入れない。[8]

- 3/22 ・ ・ ・ 軸方向にのみシフトできる歯車をもつもの
- 3/24 ・ ・ ・ 駆動軸と被駆動軸が同軸であるもの
- 3/26 ・ ・ ・ ・ および 2 つ以上の付加軸
- 3/28 ・ ・ ・ ・ ・ 付加軸が主軸と同軸なもの
- 3/30 ・ ・ ・ 駆動軸と被駆動軸が同軸でないもの
- 3/32 ・ ・ ・ ・ および付加軸
- 3/34 ・ ・ ・ 軸方向のみ以外にシフトできる歯車をもつもの
- 3/36 ・ ・ ・ 径の異なる 1 組の同軸の歯車のうちのいずれかとかみ合うことができる 1 つの歯車をもつもの
- 3/38 ・ ・ ・ 同期かみ合い装置をもつもの
- 3/40 ・ ・ ・ 逆転のみのための伝動装置
- 3/42 ・ ・ 複数の変速比を得るために作られたは配置された歯をもつ歯車をもつもの、例、ほとんど無限に可変なもの
- 3/44 ・ 遊星運動をする歯車があるもの
- 3/46 ・ ・ 遊星歯車によって連結された、ただ 2 つの中心歯車を有する伝動装置 (F 1 6 H 3 / 6 8 ~ F 1 6 H 3 / 7 8 が優先)
- 3/48 ・ ・ ・ 単一の遊星歯車または 1 組のかたく連結された遊星歯車をもつもの
- 3/50 ・ ・ ・ ・ 遊星円すい歯車からなるもの
- 3/52 ・ ・ ・ ・ 遊星平面歯車からなるもの
- 3/54 ・ ・ ・ ・ 中心歯車のうちの 1 つが内歯車で他の一方が外歯歯車であるもの
- 3/56 ・ ・ ・ ・ 両中心歯車が太陽歯車であるもの
- 3/58 ・ ・ ・ その各々が 2 つ以上の、相互にかみ合う遊星歯車からなる数組の遊星歯車装置をもつもの
- 3/60 ・ ・ ・ 逆転のみのための伝動装置
- 3/62 ・ ・ 3 つ以上の中心歯車をもつ伝動装置 (F 1 6 H 3 / 6 8 ~ F 1 6 H 3 / 7 8 が優先)
- 3/64 ・ ・ ・ 多数の歯車列からなり、その駆動力が常に全部の列を通過し、各々の列は他の列を駆動するために 1 つしか結合のないもの
- 3/66 ・ ・ ・ 1 つの列から他の列への駆動力が通

- 過しない多数の歯車列からなるもの
- 3/68 ・ 遊星歯車が伝動装置の主軸と交さる軸をもち、ハスバまたはウオームであるもの
- 3/70 ・ 伝動装置の中心軸が遊星歯車の周囲の内部にあるもの
- 3/72 ・ 第2駆動装置をもつもの、例、連続して速度を変えるための調整モータをもつもの
- 3/74 ・ 作動できる変速部材や調整部材を用いない複合体、例、摩擦力または他の力を自由に作用させることによって決定される変速比をもつもの
- 3/76 ・ 多数の変速比を得るために形成されたまたは配列された歯を有する遊星歯車をもつもの、例、ほとんど無限に可変なもの
- 3/78 ・ これらの伝動装置への同期機構の特別な応用

無端可撓部材による回転運動伝達用伝動装置

- 7/00 無端可撓性部材による回転運動伝達用伝動装置（可変変速比をもつ回転運動伝達または逆転運動に特有なもの F 1 6 H 9 / 0 0 ）[2 0 0 6 . 0 1]
- 7/02 ・ ベルトをもつもの；Vベルトをもつもの
- 7/04 ・ ロープをもつもの
- 7/06 ・ チェーンをもつもの
- 7/08 ・ ベルト、ロープまたはチェーンの張力変更手段（可調整構造のプーリ F 1 6 H 5 5 / 5 2 ）
- 7/10 ・ プーリの軸線の調節によるもの
- 7/12 ・ ・ ・ アイドルプーリの調整
- 7/14 ・ ・ ・ 原動または従動プーリの調節
- 7/16 ・ ・ ・ ・ 原動または従動軸を調整しないもの
- 7/18 ・ ベルト、ロープまたはチェーンの案内または支持手段（プーリの構造 F 1 6 H 5 5 / 3 6 ）
- 7/20 ・ ・ ローラまたはプーリの取り付け
- 7/22 ・ ベルト、ロープまたはチェーンのシフタ
- 7/24 ・ ベルト、ロープまたはチェーンの装架用の装置
- 9/00 無端可撓部材による可変変速比をもった回転運動伝達用または逆転伝動装置（回転運動を伝達する変速または逆転伝動装置の制御 F 1 6 H 5 9 / 0 0 ~ F 1 6 H 6 3 / 0 0 ）[2 0 0 6 . 0 1]
- 9/02 ・ 遊星運動をする部材のないもの
- 9/04 ・ ・ ベルト、Vベルトまたはロープを用いるもの（歯付きベルト F 1 6 H 9 / 2 4 ；可調整構造のプーリ F 1 6 H 5 5 / 5 2 ）

- 9/06 ・ ・ ・ 段プーリに係合するもの
- 9/08 ・ ・ ・ 円すい形ドラムに係合するもの（ F 1 6 H 9 / 1 2 が優先）
- 9/10 ・ ・ ・ 半径方向に作動するベルト搬送部材をもつプーリに係合するもの
- 9/12 ・ ・ ・ ベルトがベルト支持部材を介せず直接プーリの対向するフランジに係合しており、相対的に軸方向調整可能な部材よりなるプーリに係合しているもの
- 9/14 ・ ・ ・ ・ 調整可能な円すい形部品から組み立てた1個だけのプーリを用いるもの
- 9/16 ・ ・ ・ ・ とともに調整可能な円すい形部品から組み立てた2個のプーリを用いるもの
- 9/18 ・ ・ ・ ・ ・ 各プーリの1個だけのフランジが調整できるもの
- 9/20 ・ ・ ・ ・ ・ プーリの両方のフランジが調整可能なもの
- 9/22 ・ ・ ・ ロープ専用のもの
- 9/24 ・ ・ チェーン、歯車付きベルト、リンク状のベルトを使用するもの；そのような伝動装置に特に適合したチェーンまたはベルト [2 0 0 6 . 0 1]
- 9/26 ・ 遊星運動をする部材をもつもの

その他の摩擦式回転運動伝達用伝動装置

- 13/00 回転部材間の摩擦による、一定変速比をもつ回転運動伝達用伝動装置（可変変速比をもつ回転運動伝達用または逆転運動用に特有のもの F 1 6 H 1 5 / 0 0 ）[2 0 0 6 . 0 1]
- 13/02 ・ 遊星運動をする部材がないもの
- 13/04 ・ ・ ボールをもつもの、または同じ作用をするローラをもつもの
- 13/06 ・ 遊星運動をする部材があるもの
- 13/08 ・ ・ ボールをもつものまたは同じ作用をするローラをもつもの
- 13/10 ・ 部材間に圧力をおよぼす手段
- 13/12 ・ ・ 磁力によるもの
- 13/14 ・ ・ 機械的に圧力を自動変更するためのもの
- 15/00 回転部材間の摩擦による可変変速比をもった回転運動伝達用または逆転伝動装置（回転運動を伝達する変速または逆転伝動装置の制御 F 1 6 H 5 9 / 0 0 ~ F 1 6 H 6 3 / 0 0 ）
- 15/01 ・ 回転部材間の摩擦媒体として磁化性粉末または液体を用いることに特徴のあるもの [2]
- 15/02 ・ 遊星運動をする部材がないもの
- 15/04 ・ ・ 連続的な変速比をもつ伝動装置
- 15/06 ・ ・ ・ 一定の有効径の軸架された部材 A が部材 B の異なる部分と共動するもの
- 15/08 ・ ・ ・ ・ 部材 B が平らまたは平らに近い摩

	擦面をもつもの		ない伝動装置（間欠駆動部材を用いたもの F 1 6 H 2 7 / 0 0 ~ F 1 6 H 3 1 / 0 0) [2 0 0 6 . 0 1]
15/10	・ ・ ・ ・ 2 部材の軸線が交さまたは横切 るもの		
15/12	・ ・ ・ ・ ・ 1 つまたはそれぞれの部材が 2 重になったもの、例．伝動状態を良好 にするため、または軸受に加わる反力を 減少するためのもの	19/02	・ 回転運動と往復運動を相互に変換するた めのもの
15/14	・ ・ ・ ・ 部材の軸線が平行または平行に 近いもの	19/04	・ ・ ラックを用いたもの
15/16	・ ・ ・ 部材 B が円すい形の摩擦面をもつ もの	19/06	・ ・ 無端可撓部材を用いるもの
15/18	・ ・ ・ ・ ・ 外側に摩擦面をもつもの	19/08	・ 回転運動と振動を相互に変換するもの
15/20	・ ・ ・ ・ ・ 部材 B の摩擦面に部材 A の外 側リムが垂直または垂直に近い状態で共 動するもの	<u>レバー、リンク、カムまたはねじおよびナットによ る機構により運動を伝達または変換する伝動装置</u>	
15/22	・ ・ ・ ・ ・ 部材の軸線が平行または平行 に近いもの	21/00	主としてリンクまたはレバーのみからなり、 滑動部をもつか、またはもたない伝動装置 （ F 1 6 H 2 3 / 0 0 が優先）
15/24	・ ・ ・ ・ ・ 内側に摩擦面をもつもの	21/02	・ 2 またはそれ以上の独立をして動く部材 の運動を 1 つの運動に結合するもの
15/26	・ ・ ・ 部材 B が回転軸線を中心とする球 状摩擦面をもつもの	21/04	・ 案内機構、例．直線運動用 [2 0 0 6 . 0 1]
15/28	・ ・ ・ ・ ・ 外側に摩擦面をもつもの	21/06	・ 希望により働かなくし得るもの
15/30	・ ・ ・ ・ ・ 内側に摩擦面をもつもの	21/08	・ ・ 往復運動のロッドを作動位置の外に押 し出すことによるもの
15/32	・ ・ ・ 部材 B の摩擦面が、回転軸線を中 心とする円弧および直線以外の曲線の回 転体の表面として形成されるもの	21/10	・ 全運動が平面または平面に平行なもの
15/34	・ ・ ・ ・ ・ 凸状の摩擦面をもつもの	21/12	・ ・ 回転運動伝達用
15/36	・ ・ ・ ・ ・ 凹状の摩擦面をもつもの、例． 凹形のトロイド面	21/14	・ ・ ・ クランク、偏心輪、または類似の部 材が回転部材に固定され他の部分に設け た軌道に案内されるもの
15/38	・ ・ ・ ・ ・ 2 つの部材 B に対向する凹形 トロイド面間に部材または部材 A を調整 可能に設けたもの	21/16	・ ・ 回転運動と往復運動の相互変換用
15/40	・ ・ ・ 2 つの部材が軸架されないボールま たは一定の有効径のローラによって共動 するもの	21/18	・ ・ ・ クランク装置、偏心輪装置
15/42	・ ・ ・ 2 つの部材がリングまたは両部材間 に圧入された無端の可撓部材によって共 動するもの	21/20	・ ・ ・ 行程を調整するもの [2 0 0 6 . 0 1]
15/44	・ ・ ・ 有効径が一定でない 2 つの部材が直 接相互に共動するもの	21/22	・ ・ ・ 各クランクまたは偏心輪に 1 つの 連接棒および案内スライドをもつもの
15/46	・ ・ 不連続または段階的な変速比をもつ伝 動装置	21/24	・ ・ ・ ・ 他にリンクまたは案内のないも の
15/48	・ 遊星運動をする部材があるもの	21/26	・ ・ ・ ・ トグル作用をもつもの
15/50	・ ・ 連続的な変速比をもつ伝動装置	21/28	・ ・ ・ ・ カムまたは付加的案内をもつも の
15/52	・ ・ ・ 一定の有効径の軸架された部材が他 の部材の異なる部分と共動するもの	21/30	・ ・ ・ ・ ローリングコンタクトをする部 材をもつもの
15/54	・ ・ ・ 2 つの部材がリングまたは両部材間 に圧入された無端の可撓部材によって共 動するもの	21/32	・ ・ ・ ・ 枢着されたリンクまたは腕だけ からなる付加的部材をもつもの
15/56	・ ・ 不連続または段階的な変速比をもつ伝 動装置	21/34	・ ・ ・ 各クランクまたは偏心輪に 2 また はそれ以上の連接棒をもつもの
19/00	本質的に歯車または摩擦部材のみからなり、 無限に続く回転運動を伝達することができ	21/36	・ ・ ・ 揺動連接棒がないもの、例．エピ サイクリック平行運動、スロットとクラ ンクによる運動
		21/38	・ ・ ・ 一時的にエネルギーを蓄積する手段 をもつもの、例．中立死点位置を越える ようになったもの
		21/40	・ ・ 回転運動と振動の相互変換用
		21/42	・ ・ ・ 行程の調節が可能なもの
		21/44	・ ・ 振動または往復運動の伝達または相互 変換をするもの
		21/46	・ 3 次的に運動するもの [2 0 0 6 . 0

	1]		部材をもつもの
21/48	・ ・ 回転運動伝達用	27/04	・ 連続回転を間欠回転運動に変換するもの
21/50	・ ・ 回転運動と往復運動の相互変換用	27/06	・ ・ 駆動ピンが従動体のスロットに係合する機構、例．ゼネバ機構
21/52	・ ・ 回転運動と振動の相互変換用	27/08	・ ・ 原動歯車が欠歯歯車になっているもの
21/54	・ ・ 振動または往復運動の伝達または相互変換をするもの	27/10	・ ・ 離脱式の伝動部材によって得られ、グループ F 1 6 H 2 7 / 0 6 または F 1 6 H 2 7 / 0 8 の機構と組み合わせられまたは組み合わせられないもの
23/00	揺動板伝動装置；傾斜クランク伝動装置	29/00	間欠駆動部材をもつ回転運動伝達用伝動装置、例．フリーホイール作用をもつもの [2 0 0 6 . 0 1]
23/02	・ 揺動部材の位置の変更により行程を調整するもの（伝達比の変更が揺動部材の位置の変更の調整によりなされる伝動装置 F 1 6 F 2 9 / 0 4 ；ジャイロスコープ作用をもつ伝動装置、例．揺動板よりなるもの F 1 6 H 3 3 / 1 0 ）[2 0 0 6 . 0 1]	29/02	・ 一方の軸と振動または往復動する中間部材の間にあって両方の軸とともに回転しないもの（ F 1 6 H 2 9 / 2 0 , F 1 6 H 2 9 / 2 2 が優先）
23/04	・ 非回転揺動部材をもつもの	29/04	・ ・ 伝達比の変更が一方の軸に設けたクランク、偏心輪、揺動板またはカムの調整によってなされるもの
23/06	・ ・ 往復運動体に枢着された滑動体をもつもの	29/06	・ ・ ・ 同心の軸をもち、環状の中間部材が調整可能なクランクまたは偏心輪に支持され、かつまわりを動くもの
23/08	・ ・ 連接棒で往復運動部材に連結されたもの	29/08	・ ・ 伝達比の変更が振動連結部材の運動通路、ピボットの位置または有効長さの調整によりなされるもの
23/10	・ 平らな表面のある回転揺動板をもつもの	29/10	・ ・ 伝達比の変更が間欠駆動部材の直接操作によりなされるもの
25/00	主としてカム、カム従動体およびねじおよびナットによる機構のみからなる伝動装置	29/12	・ 回転する原動および従動部材の間にあるもの（ F 1 6 H 2 9 / 2 0 , F 1 6 H 2 9 / 2 2 が優先）
25/02	・ 2 またはそれ以上の独立して動く部材の運動を 1 つの運動に結合するもの	29/14	・ ・ 伝達比の変更が間欠駆動部材とは別の停止案内部材の調整によりなされるもの
25/04	・ 回転運動伝達用	29/16	・ ・ 伝達比の変更が回転部材の軸線間の距離の調整によりなされるもの
25/06	・ ・ 両回転部材に設けた軌道に案内される中間部材をもつもの	29/18	・ ・ ・ 間欠駆動部材が一方の回転部材とともに回転しながら、ほぼ半径方向の案内に沿って滑動するもの
25/08	・ 回転運動と往復運動の相互変換用（ F 1 6 H 2 3 / 0 0 が優先）	29/20	・ 間欠作用部材がウオーム、ねじ、またはラックの形になっているもの
25/10	・ ・ 行程の調節が可能なもの [2 0 0 6 . 0 1]	29/22	・ 自動変速するもの
25/12	・ ・ 回転の軸線に沿って往復運動するもの、例．ら旋溝と自動反転をもつ伝動装置 [2 0 0 6 . 0 1]	31/00	フリーホイール部材または他の間欠駆動部材をもつその他の伝動装置（ F 1 6 H 2 1 / 0 0 , F 1 6 H 2 3 / 0 0 , F 1 6 H 2 5 / 0 0 が優先）[2 0 0 6 . 0 1]
25/14	・ ・ 回転の軸線に垂直に往復運動するもの（揺動連接棒がないクランクまたは偏心輪装置 F 1 6 H 2 1 / 3 6 ）[2 0 0 6 . 0 1]	33/00	エネルギーの蓄積および放出を繰り返すことを基礎とする伝動装置
25/16	・ 回転運動と振動の相互変換用	33/02	・ 機械的アキュムレータをもつ回転伝動装置、例．重量物、ばね、間欠的に接続するフライホイール
25/18	・ 振動または往復運動を伝達または相互変換をするもの	33/04	・ ・ 速度比を変更できる回転運動伝達装置であって自動調節するもの
25/20	・ ・ ねじ機構（自動反転するもの F 1 6 H 2 5 / 1 2 ）		
25/22	・ ・ ・ 共動する部材の間に球、ローラまたは同様の部材をもつもの：この部材に専用する要素		
25/24	・ ・ ・ この機構に専用する要素、例．ねじ、ナット（ F 1 6 H 2 5 / 2 2 が優先）		
間欠駆動部材をもつ伝動装置			
27/00	フリーホイール部材をもたない間欠機構、例．ゼネバ機構 [2 0 0 6 . 0 1]		
27/02	・ 往復動または振動を伝達する 1 つ以上の		

- 33/06 ・・・・本質的にばね作用を基礎とするもの
[2 0 0 6 . 0 1]
- 33/08 ・・・・本質的に慣性を基礎とするもの
- 33/10 ・・・・ジャイロスコープ作用をもつもの，
例．揺動板，傾斜クランクを含むもの
- 33/12 ・・・・原動部材がともに運動抵抗の大きい従動部材に別に連結しているもの，例．
コンスタンチネスコ伝動装置
- 33/14 ・・・・調節用質量に影響される遊星部材
をもつもの
- 33/16 ・・・・質量はそれ自身の自由運動をも
ち，または流体より成るもの
- 33/18 ・・・・質量の動きが制限されているも
の
- 33/20 ・本質的に慣性を基礎とする，回転運動と
往復運動または振動の相互変換のための
もの
- 35/00 その他の特殊な機能的特徴をもった伝動装
置または機構
- 35/02 ・周期的に速度比が変わる回転運動を伝達
するためのもの [2 0 0 6 . 0 1]
- 35/06 ・支持部分の間の相対的移動を許容して悪
影響を防ぐように設計された伝動装置
(軸の心のずれを補正するための特別な
手段 F 1 6 H 1 / 2 6 , F 1 6 H 1 / 4
8) [2 0 0 6 . 0 1]
- 35/08 ・静止位置から動く部分上にある部材の調
整用
- 35/10 ・過負荷の吸収または過負荷による破損の
防止のための配列または装置 [2 0 0 6 .
0 1]
- 35/12 ・遅延効果をもつ伝達装置 [2 0 0 6 . 0
1]
- 35/14 ・2 つだけの安定した位置をもつ機構，例．
一定の角度をもつ位置で作用するもの
- 35/16 ・数学の公式に従う運動の機構またはその
様な運動と関連性のある運動の機構 [2
0 0 6 . 0 1]
- 35/18 ・回転部材に用いるための回転装置，例．
軸系 [2 0 0 6 . 0 1]
- 37/00 グループ F 1 6 H 1 / 0 0 ~ F 1 6 H 3 5
/ 0 0 に分類されない機械的伝動装置の組
み合わせ (機械的伝動装置と流体クラッチ
または流体伝動装置との組合せ F 1 6 H 4
7 / 0 0) [2 0 0 6 . 0 1]
- 37/02 ・本質的に歯車伝動装置または摩擦伝動装
置だけからなるもの
- 37/04 ・・・・歯車伝動装置だけで組み合わせたもの
(F 1 6 H 3 7 / 0 6 が優先)
- 37/06 ・・・・複数の駆動軸または被駆動軸をもつも
の；2 つ以上の中間軸にトルクを分配す
るための装置をもつもの
- 37/08 ・・・・差動歯車をもつもの

- 37/10 ・・・・中間軸の両端にもつもの
- 37/12 ・主として歯車または摩擦伝動装置，リン
クまたはレバーおよびカムまたは前記 3
つの形式のうちの少なくとも 2 つ以上か
らなる伝動装置 (1 つの回転部材に固定
され，他の部分に設けた軌道に案内され
るクランク，偏心輪，または類似の部材
を有する伝動装置 F 1 6 H 2 1 / 1 4 ，
カムまたは付加的案内をもつまたは，ロ
ーリングコンタクトをする部材を有する
クランクまたは偏心輪装置 F 1 6 H 2 1
/ 2 8 , F 1 6 H 2 1 / 3 0) [2 0 0 6 .
0 1]
- 37/14 ・・・・2 つ以上の別個に動く部材の運動を 1
つの運動に合成するもの
- 37/16 ・・・・駆動または被動部材がその軸線上で回
転または振動し，さらに往復動するもの

流体伝動装置 [3]

- 39/00 容積形のポンプおよびモータを用いた回転
流体伝動装置，すなわち回転ごとにあら
じめ決められた容量の流体を通すもの (流
体伝動装置のみの制御 F 1 6 H 6 1 / 3
8) [2 0 0 6 . 0 1]
- 39/01 ・空気伝動装置；大気圧以下の圧力で作動
する伝動装置 [2 0 0 6 . 0 1]
- 39/02 ・液体ポンプと離れた液体モータをもつも
の
- 39/04 ・1 つのユニットに結合された液体モータ
およびポンプをもつもの
- 39/06 ・・・・ポンプおよびモータが同じ形式のもの
- 39/08 ・・・・ポンプおよびモータの各々が 1 つの
主軸とシリンダの中を往復運動するピス
トンをもつもの
- 39/10 ・・・・伝動装置の主軸線の周囲でかつ主
軸線と平行またはほぼ平行に配置された
シリンダをもつもの
- 39/12 ・・・・静止したシリンダをもつもの
- 39/14 ・・・・回転シリンダブロックまたはシ
リンダ支持部材に支持されたシリンダを
もつもの
- 39/16 ・・・・伝動装置の主軸に垂直に配置され
たシリンダをもつもの
- 39/18 ・・・・ピストンがシリンダの外端にお
いて接続されているもの
- 39/20 ・・・・ピストンがシリンダの内端にお
いて接続されているもの
- 39/22 ・・・・伝動装置の主軸線と同心の回転体と
して形成された流体室をもつもの
- 39/24 ・・・・回転押し除け部材をもつもの，例．
軸方向または半径方向に動いて可動密閉
部材となる羽根をもつもの
- 39/26 ・・・・回転体として形成されない流体室ま
たは伝動装置の主軸線と偏心した回転体

39/28	として形成される流体室をもつもの ・・・・回転する部材の中に形成された流体室をもつもの	47/06	・流体伝動装置が流体動力形のもの
39/30	・・・・静止した部材の中に形成された流体室をもつもの	47/07	・・２個以上の伝動流体回路を用いるもの (F 1 6 H 4 7 / 1 0 が優先) [2]
39/32	・・・・回転子によって支持された移動羽根をもつもの	47/08	・・機械的伝動装置が遊星運動する部材を備えている形式のもの
39/34	・・・・１つの軸上の回転子が他の軸上の回転子と共動するもの	47/10	・・・・２個以上の伝動流体回路を用いるもの [2]
39/36	・・・・歯車形のもの	47/12	・・・・流体と相互に作用し合う羽根をもち軌道運動をする部材 [2]
39/38	・・・・押し除けねじポンプ形のもの		
39/40	・・・・水力的差動歯車装置、例．２つの出力のための相互に連結した流体室を備えた回転入力ハウジングをもつもの	48/00	差動伝動装置（差動伝動装置の冷却と潤滑 F 1 6 H 5 7 / 0 4 ） [6 , 2 0 1 2 . 0 1]
39/42	・・ポンプおよびモータが異なる形式のもの	注 このグループに分類する場合は、相反する指示がない限り、分類はすべての適切な箇所に付与される。 [2 0 1 2 . 0 1]	
41/00	流体動力形の回転流体伝動装置（流体伝動装置のみの制御 F 1 6 H 6 1 / 3 8 ） [2 0 0 6 . 0 1]	48/05	・相互に連結された複数の差動装置を有するもの [2 0 1 2 . 0 1]
41/02	・管路によって連結されたポンプおよびタービンをもつもの	48/06	・遊星運動をする歯車装置を有するもの [6]
41/04	・結合されたポンプタービンユニット	48/08	・・遊星円錐歯車装置を有するもの [6]
41/22	・・選択的に作用する多くの流体動力ユニットから成る伝動方式、例．充てん、排出または機械的クラッチによって作動しまたは作動しないもの	48/10	・・遊星平歯車装置を有するもの [6 , 2 0 1 2 . 0 1]
41/24	・細部	48/11	・・・・互いに噛み合う遊星ピニオンを有するもの [2 0 1 2 . 0 1]
41/26	・・機能に係る翼車または管路の形状	48/12	・遊星運動をする歯車装置を有しないもの [6 , 2 0 1 2 . 0 1]
41/28	・・製作に関すること、例．翼の付属品	48/14	・・カムを有するもの [6]
41/30	・・漏れ、潤滑、冷却、冷媒の循環に関すること	48/16	・・フリーホイールを有するもの [6]
41/32	・作動流体の選択 [2 0 0 6 . 0 1]	48/18	・・流体伝動装置を有するもの [6]
43/00	その他の流体伝動装置、例．振動する入力または出力をもつもの [2]	48/19	・・関連した２つのクラッチからなるもの [2 0 1 2 . 0 1]
43/02	・圧力波により作動される流体伝動装置 [2]	48/20	・差動動作を抑制または差動動作に影響を及ぼすための装置、例．固定装置 [6 , 2 0 1 2 . 0 1]
45/00	回転運動伝達用流体伝動装置と継手またはクラッチとの組み合わせ（選択的に作用する多くの流体動力ユニットから成る伝動方式 F 1 6 H 4 1 / 2 2 ） [2 0 0 6 . 0 1]	48/22	・・摩擦クラッチまたはブレーキを用いるもの [6]
注 流体トルクコンバータの作動状態を変更する目的のクラッチは後の部分に係る		48/24	・・かみ合い式のクラッチまたはブレーキを用いるもの [6]
45/02	・流体動力形流体伝動装置を橋絡する機械的クラッチをもつもの（トルクコンバータのロックアップクラッチの制御 F 1 6 H 6 1 / 1 4 ）	48/26	・・流体作用を用いるもの、例．粘性クラッチ [6]
47/00	機械的伝動装置と流体クラッチまたは流体伝動装置との組合せ [2 0 0 6 . 0 1]	48/27	・・内部作動式の流体圧力を用いるもの、例．内部ポンプ型 [2 0 1 2 . 0 1]
47/02	・流体伝動装置が容積形のもの	48/28	・・自動ロック式または自己制動式の歯車装置を用いるもの [6 , 2 0 1 2 . 0 1]
47/04	・・機械的伝動装置が遊星運動する部材を備えている形式のもの	48/285	・・・・軸が互いに平行に配置されたヘリカルギヤまたはウォームを有する、自己制動式で互いに噛み合う歯車をもつもの [2 0 1 2 . 0 1]
		48/29	・・・・軸が互いに直交配置されたヘリカルギヤまたはウォームを有する、自己制動式で互いに噛み合う歯車をもつもの [2 0 1 2 . 0 1]
		48/295	・・力増幅のために複数の手段を用いるも

F 1 6 H

	の [2 0 1 2 . 0 1]		オーム, ウオーム歯車 (かさ歯車, クラウン歯車, ハスバ歯車 F 1 6 H 5 5 / 1 7) [2 0 0 6 . 0 1]
48/30	・ 外部から作動可能な手段を用いるもの [6 , 2 0 1 2 . 0 1]		
48/32	・ ・ ・ 流体圧アクチュエータを用いるもの [2 0 1 2 . 0 1]	55/24	・ ・ ・ バックラッシュを除去する特別の装置
48/34	・ ・ ・ 電磁氣的または電氣的アクチュエータを用いるもの [2 0 1 2 . 0 1]	55/26	・ ・ ラック
48/36	・ 意図的に出力間に回転数差を発生させることを特徴とするもの [2 0 1 2 . 0 1]	55/28	・ ・ ・ バックラッシュを除去する特別の装置
48/38	・ 構造の細部 (差動装置と入出力シャフトからなる外部ケーシング F 1 6 H 5 7 / 0 3 7) [2 0 1 2 . 0 1]	55/30	・ ・ 鎖車 [2 0 0 6 . 0 1]
48/40	・ ・ 回転するデフケースに特徴を有するもの [2 0 1 2 . 0 1]	55/32	・ 摩擦部材 [2 0 0 6 . 0 1]
48/42	・ ・ 入力軸に特徴を有するもの, 例, ドライブピニオンの取付け [2 0 1 2 . 0 1]	55/34	・ ・ 調節できない摩擦円盤
49/00	その他の伝動装置	55/36	・ ・ プーリ (調節装置に本質的な特徴をもつもの F 1 6 H 5 5 / 5 2)
伝動装置または機構の細部		55/38	・ ・ ・ 粘着性を増す手段または方法 [2 0 0 6 . 0 1]
51/00	伝動機構のレバー [2 0 0 6 . 0 1]	55/40	・ ・ ・ スポークをもつもの (F 1 6 H 5 5 / 4 8 が優先)
51/02	・ 調節できるもの	55/42	・ ・ ・ 薄板からなるプーリ
53/00	伝動機構のカムまたはカム従動体, 例, 伝動機構のためのローラ [2 0 0 6 . 0 1]	55/44	・ ・ ・ 板金プーリ
53/02	・ 1 回転ごとに 1 往復する単軌道カム; このようなカムをもったカム軸	55/46	・ ・ ・ 分割プーリ
53/04	・ ・ 調整できるカム	55/48	・ ・ ・ 全体または一部分が非金属材料, 例, プラスチックからなるもの (F 1 6 H 5 5 / 3 8 , F 1 6 H 5 5 / 4 2 , F 1 6 H 5 5 / 4 6 が優先)
53/06	・ カム従動体 (F 1 6 H 5 3 / 0 8 が優先)	55/49	・ ・ ・ V - ベルトプーリに本質的な特徴 [2]
53/08	・ 多軌道カム, 例, 数回転ごとに 1 往復するもの; このようなカムに専用するカム従動体	55/50	・ ・ ・ ロープ・プーリに本質的な特徴があるもの
55/00	運動伝達用の歯または摩擦面をもつ要素; 伝動機構用のウオーム, プーリまたは綱車 (ねじおよびナットによる伝動装置のもの F 1 6 H 2 5 / 0 0) [2 0 0 6 . 0 1]	55/52	・ ・ 調節できる構造のプーリまたは摩擦円盤
55/02	・ 歯のあるもの, ウオーム	55/54	・ ・ ・ 軸受部分が半径方向に調節できるもの
55/06	・ ・ 材料の選択; 材料の固有の性質に影響を与えるための歯をもつものまたはウオームの処理の用途 [3]	55/56	・ ・ ・ 軸受部分が相対的に軸方向に調節できるもの
55/08	・ ・ 歯形 [3]	57/00	伝動装置の一般的な細部 (ねじおよびナットによる伝動装置の細部 F 1 6 H 2 5 / 0 0 ; 流体伝動装置の細部 F 1 6 H 3 9 / 0 0 ~ F 1 6 H 4 3 / 0 0) [1 , 2 0 1 2 . 0 1]
55/10	・ ・ 構造的に簡単な形状の歯, 例, ピン, 球のような形状をしたもの [3]	57/01	・ 伝動装置の要素の摩耗や応力の監視, 例, メンテナンスのきっかけのため [2 0 1 2 . 0 1]
55/12	・ ・ 分離できる部分から組み立てられた本体またはリムをもつもの [3]	57/02	・ 歯車箱; その中に伝動装置を取り付けるもの [1 , 2 0 1 2 . 0 1]
55/14	・ ・ 弾性または振動減衰を備えている構造 (F 1 6 H 5 5 / 0 6 が優先) [2 0 0 6 . 0 1]	注 このグループに分類する場合は, 相反する指示がない限り, 分類はすべての適切な箇所に行われる。 [2 0 1 2 . 0 1]	
55/16	・ ・ ・ 歯だけにに関するもの [3]	57/021	・ ・ 軸の支持構造, 例, 仕切り壁, 軸受の留め孔, 軸受付きの壁やカバー [2 0 1 2 . 0 1]
55/17	・ ・ 歯車 (ウオームホイール F 1 6 H 5 5 / 2 2 ; 鎖車 F 1 6 H 5 5 / 3 0) [3]	57/022	・ ・ ・ 動力伝達装置の軸や軸受の調整 (遊星歯車をもたない歯車装置の軸の不整列を補償するための特別な手段 F 1 6 H 1 / 2 6 ; 遊星歯車装置の軸の不整列を補
55/18	・ ・ ・ バックラッシュを除去する特別の装置		
55/20	・ ・ ・ ・ かさ歯車用		
55/22	・ ・ 交さした軸をもつ伝達装置用, 特にウ		

- 償するための特別な手段 F 1 6 H 1 / 4 8) [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/023 ・ 伝動装置箱中への歯車または軸の取付けや据え付け, 例 . 組立のための方法または手段 [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/025 ・ 伝動装置箱の支持, 例 . トルクアーム, または他の装置へ伝動装置箱を取り付けるための支持体 [2 0 0 6 . 0 1]
- 57/027 ・ 伝動装置箱の通気のための手段, 例 . エアブリーザ, を特徴とするもの [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/028 ・ 振動や騒音の低減の手段を特徴とするもの [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/029 ・ 伝動装置箱の密封手段, 例 . 気密性の改善, を特徴とするもの [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/03 ・ 伝動装置箱の補強手段, 例 . リブ, を特徴とするもの [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/031 ・ 伝動装置箱のカバーや蓋を特徴とするもの [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/032 ・ 使用される材料を特徴とするもの [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/033 ・ シリーズ化された伝動装置箱, 例 . 同じ設計思想でサイズ違いがあるもの, あるいは標準化されたユニットの組合せを用いた伝動装置箱 [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/035 ・ 無端可撓部材を用いた動力伝達装置のための伝動装置箱 [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/037 ・ 差動伝動装置を収納するための伝動装置箱 (差動伝動装置の回転ケース F 1 6 H 4 8 / 0 0) [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/038 ・ 傘歯車伝動装置を収納するための伝動装置箱 (F 1 6 H 5 7 / 0 3 7 が優先) [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/039 ・ ウォーム伝動装置を収納するための伝動装置箱 [2 0 1 2 . 0 1]
- 57/04 ・ 潤滑または冷却に関して特徴があるもの (静圧形伝動装置の潤滑または冷却の制御 6 1 / 4 1 6 5) [1 , 2 0 1 0 . 0 1]
- 57/05 ・ チェーンのもの [2 0 0 6 . 0 1]
- 57/08 ・ 遊星運動をする部材をもった伝動装置
- 57/10 ・ ブレーキ装置
- 57/12 ・ バックラッシュの調節または除去のための装置で他に分類されないもの [2]

回転運動を伝達する伝動装置の制御 [5]

注

- (1) サブクラス B 6 0 W のタイトルの後の注に注意すること。
- (2) グループ 5 9 / 0 0 から 6 3 / 0 0 において, 歯車箱内部に位置するクラッチは, 伝動装置の構成部分とみなす。[5]
- (3) グループ 5 9 / 0 0 から 6 3 / 0 0 において, 下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる : [5]

“ 最終出力要素 ” は, 変速比を設定するために動かされる最終要素, すなわち 2 つの力伝達手段, 例えば逆転アイドル歯車,

歯車群, カップリングスリーブ, 流体クラッチに応用されたピストン; 間の結合を達成するものを意味する。

“ 機構 ” は, 単一要素またはそれに代わる一連の要素から構成される運動学的連鎖を意味し, 運動学的連鎖の各点の位置は連鎖のどの他の点の位置からも誘導され得るので, そのため運動学的連鎖を構成する複数の要素の一つの要素の上の一点に与えられた位置に対し, 運動学的連鎖を構成する要素または一連の要素の上の他の各々の点の唯一の位置が存在することを意味する。

“ 最終出力機構 ” は, 最終出力要素を含む機構を意味する。

“ 作動機構 ” は, その動きが相互接触により他の機構の動きの原因となる機構を意味する。

“ 最終作動機構 ” は, 最終出力機構を作動する機構を意味する。

(4) グループ 6 1 / 0 0 に個々に包含される特徴の組み合わせと, グループ 5 9 / 0 0 とグループ 6 3 / 0 0 の一つまたは両者により, 別々に包含される特徴の組み合わせは, グループ 6 1 / 0 0 に分類される。[5]

(5) グループ 5 9 / 0 0 とグループ 6 3 / 0 0 により, 別々にカバーされる特徴の組み合わせは, グループ 6 3 / 0 0 に分類される。[5]

(6) グループ 5 9 / 0 0 から 6 3 / 0 0 に分類するとき, 注 (4) 及び (5) による分類では特定されず, サーチに有用な情報と考えられる制御入力または伝動装置の種類も分類してよい。このような必須でない分類は, 「付加情報」として付与されるべきである。例 . 制御される伝動装置の種類についてはサブグループ 6 1 / 6 6 から選択し付与され, 制御入力についてはグループ 5 9 / 0 0 から選択し付与される。[8]

- 59/00 回転運動を伝達するための変速あるいは逆転伝動装置のための制御入力 [5]
- 59/02 ・ 選択装置 [5]
- 59/04 ・ 変速比選択装置 [5]
- 59/06 ・ 変速比が無段であるもの [5]
- 59/08 ・ 変速範囲選択装置 [5]
- 59/10 ・ レバーを含むもの [5]
- 59/12 ・ 押しボタンを含むもの [5]
- 59/14 ・ 入力トルクまたはトルク要求に関するもの [5]
- 59/16 ・ トルクの動力測定 [5]
- 59/18 ・ アクセルペダルの位置に依存するもの [5]
- 59/20 ・ キックダウン [5]
- 59/22 ・ アイドル位置 [5]
- 59/24 ・ スロットル開度に依存するもの [5]
- 59/26 ・ 圧力に依存するもの [5]
- 59/28 ・ ガスタービンガスの圧 [5]
- 59/30 ・ 吸入マニホールド真空圧 [5]
- 59/32 ・ 内燃機関の過給機圧 [5]
- 59/34 ・ 燃料供給に依存するもの [5]
- 59/36 ・ 入力速度に関するもの [5]
- 59/38 ・ 伝動装置要素の速度 [5]
- 59/40 ・ 出力軸速度 [5]
- 59/42 ・ 入力軸速度 [5]

F 1 6 H

- 59/44 ・機械の速度に依存するもの (F 1 6 H 5 9 / 4 6 が優先) [5]
- 59/46 ・複数の速度間の比較に依存するもの [5]
- 59/48 ・入力加速度に関するもの [5]
- 59/50 ・入力機械の状態に関するもの、例、ドア、または安全ベルトの位置 [5]
- 59/52 ・機械の重量に依存するもの、例、バスの乗客に基づく重量の変化 [5]
- 59/54 ・ブレーキからの信号に依存するもの、例、パーキングブレーキ [5]
- 59/56 ・主クラッチからの信号に依存するもの [5]
- 59/58 ・舵取り装置からの信号に依存するもの [5]
- 59/60 ・入力周囲状態に関するもの [5]
- 59/62 ・大気圧 [5]
- 59/64 ・大気温度 [5]
- 59/66 ・道路状態、例、傾斜、滑り易さ [5]
- 59/68 ・入力伝動装置状態に関するもの [5]
- 59/70 ・確立された変速比に依存するもの [5]
- 59/72 ・油の特性に依存するもの、例、温度、粘性 [5]
- 59/74 ・入力原動機のパラメータに関するもの (F 1 6 H 5 9 / 1 4 が優先) [5]
- 59/76 ・運転中のシリンダー数 [5]
- 59/78 ・温度 [5]
- 61/00 回転運動を伝達するための変速あるいは逆転伝動装置の制御機能 [5]
- 61/02 ・用いられる信号に特徴のあるもの [5]
- 61/04 ・滑らかな変速比シフト [5]
- 61/06 ・流体圧の変化率を制御することによるもの [5]
- 61/08 ・タイミング制御 [5]
- 61/10 ・シフトヒステリシスを調整するもの [5]
- 61/12 ・機能不調または機能不調の可能性あることを検知するもの、例、フェイルセーフ (静圧形伝動装置の制御における 6 1 / 4 1 9 2) [5 , 2 0 1 0 . 0 1]
- 61/14 ・トルクコンバータのロックアップクラッチの制御 [5]
- 61/16 ・好ましくない状態で、シフトを禁止するもの (F 1 6 H 6 1 / 1 8 が優先) [5]
- 61/18 ・意図的でない、あるいは安全でないシフトを防ぐもの [2 0 0 6 . 0 1]
- 61/20 ・伝動装置のクリープを防ぐもの [2 0 0 6 . 0 1]
- 61/21 ・エンジンブレーキの制御を与えるもの [7]
- 61/22 ・鎖錠 (鎖錠あるいは不作動のための機構の構造的特徴 F 1 6 F 6 3 / 3 4) [2 0 0 6 . 0 1]
- 61/24 ・感覚を与えるもの、例、選択を可能にすること [5]

- 61/26 ・最終作動機構のための運動の発生あるいは伝達 [5]

注

(1) 選択装置のみから成る運動の発生または伝達は、グループ 5 9 / 0 0 に分類される。 [5]

(2) 最終出力機構の一部分の場合、運動の発生または伝達は、グループ 6 3 / 0 0 に分類される。 [5]

- 61/28 ・最終作動機構の少なくとも一つの運動が非機械的な力により起こされるもの、例、パワーアシストされるもの [5]
- 61/30 ・液圧モータ自体 [5]
- 61/32 ・電動モータ自体 [5]
- 61/34 ・一つが予選択運動のためのものであり、一つがシフト運動のためのものである二つの機構を含むもの (F 1 6 H 6 1 / 3 6 が優先) [5]
- 61/36 ・少なくとも一つの運動がケーブルにより伝達されるもの [5]
- 61/38 ・流体伝動装置のみの制御 [5]
- 61/40 ・流体静力学的なもの [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4008 ・回路圧の制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4017 ・高圧回路の制御、例、リリーフ弁による超過油圧の防止 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4026 ・低圧回路の制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4035 ・流量の制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4043 ・高圧回路と低圧回路をバイパスする弁に関連する制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4052 ・弁が可変絞り機能を有するもの、例、オリフィス弁 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4061 ・方向切替弁に関連する制御、例、給水導管を横断する切替弁 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4069 ・中立制御に関連する弁、例、シャットオフ弁 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4078 ・油圧回路と外部または補機との流体の交換 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4096 ・アキュムレータを用いたもの [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4104 ・フラッシング、例、フラッシング弁や排出手段への接続によるもの [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4131 ・タンクからの吸引による流体の交換、例、オイルパン [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4139 ・補充または清掃用のポンプ、例、補充用チャージポンプ [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4148 ・開回路 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4157 ・制動装置の制御、例、モータがポンプとして作動するときのポンプのオーバーラン防止 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4165 ・冷却または潤滑の制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/4174 ・通気孔の制御、例、捕捉した空気除去 [2 0 1 0 . 0 1]

- 61/4183 ・・・・振動または騒音の防止または減少，
例．キャピテーション防止 [2 0 1 0 .
0 1]
- 61/4192 ・・・・機能不調または機能不調の可能性が
あることを検知するもの，例．フェイル
セーフ [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/42 ・・・・可変出力または容量を備えているポン
プまたはモータの調整装置を含むもの
[5 , 2 0 1 0 . 0 1]
- 61/421 ・・・・電気水力学的制御手段を用いたモ
ータ容量の制御，例．ソレノイド弁を用
いたもの [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/423 ・・・・油圧制御手段を用いたモータ容量
の制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/425 ・・・・電気アクチュエータを用いたモータ
容量の制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/427 ・・・・機械的な制御手段を用いたモータ
容量の制御，例．レバーやペダルを用い
たもの [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/431 ・・・・電気水力学的制御手段を用いたポン
プ容量の制御，例．ソレノイド弁を用
いたもの [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/433 ・・・・油圧制御手段を用いたポンプ容量
の制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/435 ・・・・電気アクチュエータを用いたポン
プ容量の制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/437 ・・・・機械的な制御手段を用いたポンプ
容量の制御，例．レバーやペダルを用い
たもの [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/438 ・・・・前後進の切換の制御，例．2 方向
に放流する斜板の制御 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/439 ・・・・中立位置の制御，例．斜板を中立
位置に維持するための手段によるもの
[2 0 1 0 . 0 1]
- 61/44 ・・・・複数の運転中のポンプまたはモータ
ユニットをもつもの [5]
- 61/444 ・・・・運転中のポンプまたはモータユニ
ットの数の変更によるもの [2 0 1 0 .
0 1]
- 61/448 ・・・・タンデムポンプまたはモータのた
めに回路を制御するもの [2 0 1 0 . 0
1]
- 61/452 ・・・・複数のポンプまたはモータを選択
的に制御したもの，例．直列または並列
の切換 [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/456 ・・・・複数のポンプ間またはモータ間
におけるトルクまたは速度のバランスを制
御したもの [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/46 ・・・・出力要求による自動調整 [5 , 2 0
1 0 . 0 1]
- 61/462 ・・・・目標変速比を達成するもの [2 0
1 0 . 0 1]
- 61/465 ・・・・目標入力回転数を達成するもの [2
0 1 0 . 0 1]
- 61/468 ・・・・目標入力トルクを達成するもの [2
0 1 0 . 0 1]
- 61/47 ・・・・目標出力回転数を達成するもの [2
0 1 0 . 0 1]
- 61/472 ・・・・目標出力トルクを達成するもの [2
0 1 0 . 0 1]
- 61/475 ・・・・目標パワーを達成するもの，例．
入力パワーまたは出力パワー [2 0 1 0 .
0 1]
- 61/478 ・・・・過負荷防止，例．高圧を限定する
もの [2 0 1 0 . 0 1]
- 61/48 ・動圧形 [5]
- 61/50 ・・・・完全に充填された作動回路を保持し
て，作動回路中の流体が流れ，勢い，ま
たは反作用の変化によって制御されるも
の [5]
- 61/52 ・・・・羽根の位置の変更によるもの [5]
- 61/54 ・・・・軸方向に位置を変更する羽根車
によるもの [5]
- 61/56 ・・・・羽根の角度を変更するもの [5]
- 61/58 ・・・・羽根車間の機械的接続の変更によ
るもの [5]
- 61/60 ・・・・フリーホイールクラッチだけを用
いたもの [5]
- 61/62 ・・・・羽根車間の接続に変速伝動装置
またはクラッチを用いたもの (F 1 6 H
6 1 / 6 0 が優先；回転運動伝達用流体
伝動装置と，流体動力形流体伝動装置を
橋絡する機械的クラッチとの組み合わせ
F 1 6 H 4 5 / 0 2) [2 0 0 6 . 0 1]
- 61/64 ・・・・作動回路中の流体量を変更すること
によって制御されるもの [5]
- 61/66 ・無段変速伝動装置に特に適したもの (流
体伝動装置のみの制御 F 1 6 H 6 1 / 3
8) [2 0 0 6 . 0 1]
- 61/662 ・無端可撓部材を有するもの [8]
- 61/664 ・摩擦伝動装置 [8]
- 61/68 ・有段伝動装置に特に適したもの [8]
- 61/682 ・駆動力の遮断があるもの [8]
- 61/684 ・駆動力の遮断がないもの [8]
- 61/686 ・・・・遊星歯車を持つもの [8]
- 61/688 ・・・・二つの入力があるもの，例．クラッ
チによる二つのトルク伝達経路の一つを
選択 [8]
- 61/70 ・ひとまとめに配置された変速伝動装置，
すなわち，直列に配置された別個の変速
歯車列を持つもの，例．レンジ型または
オーバードライブ型変速伝動装置，に特
に適したもの [8]
- 63/00 回転運動を伝達するための変速あるいは逆
転伝動装置の制御出力 [5]
- 63/02 ・最終出力機構自体；最終出力機構のため

F 1 6 H

- の作動手段 [5]
- 63/04 ・ ・ 一つの最終出力機構が一つの最終作動機構により作動されるもの [5]
- 63/06 ・ ・ ・ 最終出力機構が無数の位置をもつもの [5]
- 63/08 ・ ・ 複数の最終出力機構が一つの最終作動機構により作動されるもの [5]
- 63/10 ・ ・ ・ 最終作動機構が一連の独立した運動の径路をもち、各運動の径路は一つの最終出力機構のみと関連するもの [5]
- 63/12 ・ ・ ・ 二つ以上の径路の運動が同時に起こるもの [5]
- 63/14 ・ ・ ・ 最終出力機構が最終作動機構の繰り返し運動によって継続的に作動されるもの [5]
- 63/16 ・ ・ ・ 最終出力機構が最終作動機構の前進運動によって継続的に作動されるもの [5]
- 63/18 ・ ・ ・ ・ 最終作動機構がカムを含むもの [5]
- 63/20 ・ ・ ・ 最終作動機構が二つの異なった径路を運動することにより各最終出力機構は予選択され次いで運動するもの、例、シフトゲートにより案内されるもの [5]
- 63/22 ・ ・ ・ ・ 最終出力機構が最終作動機構により同時に作動されるもの [5]
- 63/24 ・ ・ 各最終出力機構が種々の最終作動機構のうち一つのみによって作動されるもの [5]
- 63/26 ・ ・ ・ 最終出力機構のいくつかの運動が他の最終出力機構により起こされるもの [5]
- 63/28 ・ ・ 二つ以上の最終作動機構が同じ最終出力機構を作動するもの [5]
- 63/30 ・ ・ 最終出力機構の構造上の特徴 [5]
- 63/32 ・ ・ ・ ギアシフターヨーク [5]
- 63/34 ・ ・ ・ ロッキングあるいは不作動のための機構 [5]
- 63/36 ・ ・ ・ ・ インターロッキング装置 [5]
- 63/38 ・ ・ ・ ディテント [5]
- 63/40 ・ 最終出力機構を作動するための信号以外の信号を含むもの [5]
- 63/42 ・ ・ 変速比表示装置 [5]
- 63/44 ・ ・ 補助伝動装置の制御ユニットへの信号 [5]
- 63/46 ・ ・ 歯車箱の外部にあるクラッチへの信号 [5]
- 63/48 ・ ・ パーキングブレーキへの信号 [5]
- 63/50 ・ ・ エンジンまたはモーターへの信号 [7]